

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	4月の再開に伴い、新規入居者様を受け入れる際に改めて原点に立ち戻りケアの方向性としている。新人職員への浸透が今後の課題。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域向けの広報誌の発行や、地域の集まり(秋桜会・認知症カフェ・ケア施設町内会)に参加させていただき、活動ができるように交流を実施している。	・今後も継続し取り組みを行ってほしい ・認知症カフェに利用者さんと参加し、地域の住民や専門職の人と交流している		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	対面での会議に加え、対面参加できないご家族へも書面でご意見が伺えるように会議を開催。頂戴した意見を職員間で意見交換しサービス向上に活かしている。	・書面報告ありがとうございます。都合のつくときは参加したいと思います ・利用者の意見を取り入れる配慮がされている為、信頼関係を築く事に繋がっていると思います ・運営推進会議で話せる時間が確保されている		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に一度、入居状況の報告や札幌市の集団指導へ参加。介護に関するアンケートへの協力を実施。また、地域包括支援センターから運営に関する意見を伺い、空室状況の情報交換をおこなっている。	・多方面な連携によりスムーズな事業運営がされていると思います ・地域の研修会でも担当者にアプローチし情報交換を図っている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者を含めた菜の花全館の管理者会議にて、3ヶ月に1回身体拘束適正化委員会を開催。管理者がその内容を全職員へ伝達し、共有を図っている。また年2回以上の身体拘束の研修を実施し研鑽に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今後も左記、研修内容を実施していただき、利用者が安心して生活できるホームであって欲しいと思います
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者を含めた菜の花全館の管理者会議にて身体拘束等適正化委員会と共に3ヶ月に1回虐待防止委員会を開催している。またユニット会議にて、虐待に関する定義や虐待防止のための方策についてNo5項目と合わせ年2回以上の研修を行い、防止に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今後も左記、研修内容を実施していただき、利用者が安心して生活できるホームであって欲しいと思います
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年度ごとに研修スケジュールを作成し各研修をおこなっている。当該研修は3月を予定している			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約時は法人における営業担当者もしくは管理者が書類をもとに口頭にて契約内容や解約手順を説明している。また管理者は、疑問や不安等があれば、都度対応している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	相談窓口の設置、運営推進会議等苦情や意見や要望を口答や書面にて、いつでも表明できるようにしており、その内容を運営に活かしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・運営推進会議等を通し、充分に出来ていると評価する。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理者は定期的に個人面談を実施し、職員からの意見や提案を日常的に聞けるようにしている。それらを毎月の法人内管理者会議にて、代表者へ伝えている。また、直属以外の窓口へ相談ができるよう各相談窓口を設置している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人として各自が向上心を持ち就業できるよう人事考課システム制度を導入。勤怠管理、介護システムを導入し業務のICT化を進める等の環境整備を行っている。事業所においては、風通しの良い働きやすい職場となるよう環境を整えている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・働きやすい職場づくりを今後も継続して欲しいと思います
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月の職員会議で各研修を実施しているのに加え、個々の実績、力量、意欲に応じ、法人負担で資格取得の支援、法人外での研修参加をおこなっている		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・働きやすい職場づくりを今後も継続して欲しいと思います
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	同区の管理者連絡会への参加、他高齢者施設の運営推進会議の参加等の協力していただくなど、同業者とのネットワークを通じサービスの質を向上させていく関係づくりをおこなっている			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々、入居者様と一緒に過ごす時間を大切にしている。残存機能を活かした手伝い、毎日のレク、季節行事を行っており、関わりを持つ事で共に過ごす関係性を築いている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	対面での面会支援や、外出への支援等、ご本人とご家族、馴染みの関係者等が気兼ねなく訪問が出来るよう対応している。	・入居者様の事をしっかりと考え、十分に面会支援をされていると思います ・忙しい中でも対応頂きありがとうございます ・利用者の自宅に行き、ご近所との関係を大切にされている		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症の症状や、気遣いによりはっきりした意向は聞けない事が多い為、毎日の会話、生活歴などの情報シートを参考にし、関わりを持ち事で意向の把握に努めている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	色々な視点から判断する事で偏りがなく、各職員が担当となり実施している。素案のケアプランをカンファレンスで協議を行う事で現状に即したケアプランが立案出来るよう努めている。	・ご本人を中心に考えながら日々、アセスメント、ケアプラン作成をされていると思います ・入居者の様々な場面での状態をよく観察し、ご本人の意向を汲み取りケアプランに反映している	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・家族の意見を聞いて下さり、本人のより良い暮らしに向けた介護計画を作成しようと努力して下さっていると思います ・個々の現状に合ったプラン立案、実行して頂いていると思います
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	10月より介護システムを導入。ICTを活用、データを基にし、実施に活かしている		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・システムなどを利用し、個々のニーズ、現状を捉えた介護をして頂いていると思いますし、今後も継続してほしいと思います
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様それぞれの楽しみ方を提供出来るように努め、皆で同じ事をしなくては行けないという考え方はせず、柔軟なサービス提供に心掛けている。	・認知症カフェに参加する等、様々な企画を考えていることと思います ・利用者それぞれの要望は実現できる様工夫している		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症カフェに参加しているものの、大きな関わりを持つ事はできなかった。	・地域資源の把握と活用できそうな内容を検討しながら、より有意義な事柄、内容を精査して頂ければと思います ・利用者ひとりひとりの資源は多様であり可能な部分是对応していると思う		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	往診以外の受診時はご家族へ受診を行って頂いている。往診では日々の体調、様子の変化を適切に伝え、それらをご家族へ口頭または手紙にて伝えている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	病院への情報提供、入院中の様子など、情報交換にて連携を図り、退院の際の受け入れ態勢も整えている。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・利用者家族が納得し治療等が受けられる態勢であれば安心が出来ます。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	重度化した場合や終末期のあり方について、意思確認を毎年おこなっている。日常生活に変化が見られた際や重度化した場合は、主治医とご家族も交えて、話し合う機会を持ち、方針を共有できる機会を設けている		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・利用者家族が納得し治療等が受けられる態勢であれば安心が出来ます。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	緊急時対応についての研修を実施し、緊急時フローチャートは、各職員が良く目にする場所に掲示している。また実際の緊急時には、役割分担を定めて、初動から対応できるようにしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	避難訓練(昼夜別想定の火災、地震)を実施している。また、実際に発生した際には、近隣の方にも避難の協力を得られることになっており、避難場所等も決まっている。BCPの策定、自然災害訓練を実施し活用できる様に準備も行っている。	・近隣の理解と協力が得られており、安心して利用する事が出来ます ・訓練は実施され、地域の協力も得られている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・災害はいつ起きるかわかりません。避難訓練等の実施を引き続きお願いします
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	その方の生活歴、認知症の症状を考慮し、適切と思われる言葉かけ、過ごし方の提案に努めている。また定期的に研修を行い確かめている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・体調の変化があった時はご連絡を頂き、状況説明も伺えるのでありがたいと思います
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	その方のペースにあった過ごし方の提案をし、可能な限り実現ができるよう努めている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	調理をユニット内で行う事で感じられる匂い、音、雰囲気的大事にし、入居者様自身も、準備や片づけに参加頂く事で食事が楽しくなるよう支援を行っている		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・楽しめるよう充分に配慮が出来ていることが伺える。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	6カ月に一度、口腔・栄養スクリーニングを実施。その方の状態を把握し状態の確認を行い支援に活かしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎食後、その方に応じた、口腔ケアを実施。必要に応じて訪問歯科の利用、治療等を活用し口腔内の維持に努めている。また6ヶ月に1回口腔・栄養スクリーニングを実施し、状態を確認している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・個々の能力に応じたケアをして頂いている為、今後も継続してほしい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々に応じた排泄形態を提案し実施。その時の状態によるが、全員がトイレで排泄できる様に支援をしている		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・個々の能力に応じたケアをして頂いている為、今後も継続してほしい。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	平等性を保つため曜日は決めているが、その時の状態に合わせ、曜日の変更や、時間の変更等が出来る。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝時間は決めておらず、個々のペースで就寝出来るように支援している。また、いつでも休息が図れるようにソファを配置したり、居室で休むことも出来るようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方薬の情報はいつでも職員が確認できるように保管されている。症状の変化について状態を記録し、医師へ情報提供、治療に活かしている。また、服薬ミスが起こらないように服薬支援システムを導入している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・体調に合わせて減薬調整をしたりと細かく支援されている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活歴、嗜好にに合わせて活動が出来るようケアプランを作成し実施している。内容に依り実施回数に乖離がある事が今後の課題といえる。	・工夫されたレクをされており、充分に出来ていると思います ・利用者の大切にしている楽しみ事を知っており実現できる様対応している		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や喫茶店への外出等、戸外に出かける機会を増やし、日常的な外出支援に繋げている。また、家族様との外出も積極的に行えるよう協力を行っている。機会的にまだ少ないのが今後の課題となっている	・今後、さらに外出支援が出来たらいいと思います ・外出はなかなか大変な事だと思いますが家族としても時々、外に連れていきたいと思います。ボランティアの活用もありかと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は行事で買い物がある際、ご本人で支払うこともあったが、現在は屋外に出る機会はあるが、お金を使用する機会はなく支援はおこなえていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自ら電話することは難しいが、ご家族からの入電時や、職員が電話をする際に、取り次ぎをおこない、ご本人と話す機会がある。また、その方の生活リズムを事前に伝えて、より良い状況で話ができるように心掛けている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居が相次いでいる事もあり、居心地よく生活できるよう、その都度、協議し、レイアウト変更している		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の行事に合わせた飾り付けがあり、心地よい雰囲気があります

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期的に意向の確認を実施し、意向に沿った暮らしができるよう努めている。表出が難しい場合でも、生活歴や、その方の言動より推察し、その人らしく生活が送れる様支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居の際、情報収集と共に、色々な視点から課題、望みについて協議し支援に反映出来るように努めている。また暮らしの情報シートは1年ごとに更新を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	健康状態に変化が見られた際は、かかりつけ医に相談、指示をもらい支援を行っている。また、法人内の看護師による体調確認を週1回実施し、医療的な助言も受けている。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・様々な面で支援をしてもらいながら、生活をしていく事が出来ていると評価する。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居の希望を承った段階より情報収集を行い、様々な視点からこれまでの暮らしを実現するために必要な支援を模索し実施している			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居の段階より家族様に依頼し、馴染みの物や家具、写真等を居室に置く事が出来るように働きかけを行っている		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・十分に出来ていると評価し、家族としても過ごしやすい居室となるよう協力をしていく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	可能な限り、戸外に出かける機会が作れるように働きかけを行うも、実施する事が出来ないこともある。特に突発的な希望に至っては支援に繋がられていない。	・本人の希望があれば家族としては添いたいと考えるし、意向や希望が分かるような様子があれば共有して頂きたい ・入居者とその家族が広い世代と交流ができればと思います ・地域のお祭りや行事に参加出来ている		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	出来る事、出来ない事、支援を受ける事で出来る事を職員は把握し、自尊心に配慮しながら支援を行っている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員は入居者様個々の強みを理解、把握し、声の掛け方、活躍できる場面を作り出せるように努めている。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・入居者が増え、それぞれの個性を把握するのは大変だと思うが、出来ていると評価する。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症カフェや秋桜会（地域の集まり）、児童養護施設と関わりを継続的に持ち、交流が出来るように働きかけを行っている。また近隣の方の訪問（運営推進会議）等で地域と関わり、交流が持てる様に支援を行っている。	・お世話になってから日が浅いので分かりませんが、今後、様々な交流で人との関わりが持てると良いと思います		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍がある程度落ち着き、新たに地域との交流が求められる中で色々な繋がり、活動を新たに拡げてきた。その中で入居者様も実際に交流し「また来たいね」「あんたたちは本当に良くやってくれるからね」「次は何やるの」等、言葉をいただいている。今後も入居者様がより良い生活が送れるように支援をおこなっていく。	・日々暮らしていけるのも職員の方々の支援があるからこそ大変感謝しています ・毎日の日々を職員の支援の基に楽しく過ごせるようにしてくれている。地域にもでかける機会が増えている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・グループホームでの生活をより良いものにと努力して頂き感謝します。家族として協力出来る事があればしていきたい ・皆様にご支援して頂きながら安心して生活して欲しいです